

横浜三工会ニュース

第2号

発行日：平成21年9月30日

【目次】

- ❖ 三宅淳巳コース長挨拶
- ❖ 活動について
- ❖ 会計報告について
- ❖ 教員の異動について

横浜三工会から会員の皆様へニュースレターをお送りします。まず、2009年度物質のシステムとデザインコースのコース長である三宅淳巳教授からご挨拶を頂きました。

三宅淳巳コース長 挨拶



平成21年度～22年度、物質工学科 物質のシステムとデザインコース長を仰せつかっております。平成19年度入学生より新たなコース体制となり、当コース1期生は3年生となりました。物質工学科の入学定員は160名であり、化学コース（約65名）、バイオコース（約25名）、物質のシステムとデザインコース（約65名）に分かれます。当コースの担当教員は、旧化学システム工学大講座でバイオコース担当以外の教員と旧環境エネルギー安全工学大講座担当教員よりなり、熱心で活発な教育研究を行っています。平成21年3月には、永年本学の教育研究にご尽力いただいた安藤柱教授および原孝夫教授が停年によりご退職され、同年4月には、熊崎美枝子准教授および澁谷忠弘准教授が新たに着任されました。当コースの教員構成を下表に示します。

物質のシステムとデザインコース教員一覧（平成21年9月30日現在）（敬称略）

教授	准教授	講師	助教	特別研究教員	研究教員	助手
伊藤公紀, 太田健一郎, 大谷英雄, 奥山邦人, 上ノ山周, 羽深 等, 藤江幸一, 松本幹治, 三宅淳巳, 麦倉良啓*, 渡辺隆夫*	荒牧賢治, 岡 泰資, 岡崎慎司, 笠井尚哉, 亀屋隆志, 熊崎美枝子, 澁谷忠弘, 高橋宏治, 中村一穂, 仁志和彦, 光島重徳, 森 昌司, 吉武英昭, 伊崎慶之*	相原雅彦, 横山 隆	金井俊光, 松澤幸一	伊藤大輔, 新田見匡, 三角隆太	中島啓光	田中美香子

* 連携講座教員（財）電力中央研究所

この1年は、ノーベル物理学賞・化学賞同時受賞、北京オリンピックやWBC（World Baseball Classic）連覇などの明るい話題もありましたが、一方で、100年に一度と言われる金融危機、隣国の核ミサイル発射騒動、メキシコ発の新型インフルエンザ等々、不安要素が明るい話題を吹き飛ばす大変な年でした。特に米国に端を発した金融危機は、就職活動を行う学生諸君に対しても大きな影響を及ぼしております。卒業生の皆様には、次代を担う学生諸君の就職活動に十分にご理解をいただければと存じますので、何卒よろしくお願い致します。

本同窓会も新たな組織となって日が浅く、卒業生の皆様にはピンとこない方々が多くいらっしゃるかと存じますが、本年11月8日(日)には本学のホームカミングデーとあわせ、本会の総会、講演会ならびに懇親会を開催いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ大学においでいただき、旧交を温めるとともに、新たな出会いを楽しんでいただければと存じます。横浜三工会の皆様には益々お元気でご活躍されますよう、心よりお祈り申し上げます。

2008年度横浜三工会総会・特別講演会・懇親会を開催

2008年10月25日（土）に、本学大会館にて3名のご来賓を含む約60名の参加者を得て総会・特別講演会・懇親会を開催致しました。総会での活動報告と会計報告の後、本学副学長・理事 渡辺 慎介教授に「これまでとこれからの横浜国立大」と題した特別講演を行なって頂きました。懇親会では、ご来賓からのご挨拶に続き、上野 満雄名誉教授に乾杯のご発声を頂き、さらに、物質工学科工学系の学業優秀者の4年生を対象に上ノ山会長から横浜三工会学生奨励賞を授与致しました。



会計報告について

当会の会計年度は、会則に定められておりますように4月1日～翌年の3月31日までとなっておりますが、2009年3月31日までの会計が総会で認められておりませんので、昨年度の総会で認められた2008年4月1日～2008年10月21日までの会計を以下に報告させていただきます。

収入		支出	
平成20年卒業生・修了生同窓会費	203,000	設立準備費用(印鑑、印紙代、設立準備会)	62,972
設立準備金(横浜化工会)	332,200	文具	236
設立準備金(横浜安工会)	270,000	横浜国立大学工学部同窓会連合年会費	70,000
設立準備金(横浜エネルギー会)	86,000	小計	133,208
設立準備金(環境エネルギー安全工学同窓会)	42,800	普通貯金残高	1,205,109
郵便振り込み(年会費、総会懇親会参加費)	411,040	手元現金残高	6,792
雑収入(利息)	69	小計	1,211,901
合計	1,345,109	合計	1,345,109

教員の異動について

- ☆ 2009年3月31日をもって安藤 柱教授、原 孝夫教授がご退任されました。長年の研究教育活動お疲れ様でした。なお、2009年4月1日付けで安藤 柱教授、原 孝夫教授に本学から名誉教授の称号が授与されました。
- ☆ 2009年4月1日付けで熊崎 美枝子准教授、澁谷 忠弘准教授が着任されました。
- ☆ 2009年7月1日付けで金井 俊光助教が着任されました。
- ☆ 2009年8月8日に上原 陽一名誉教授がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

すでに赴任されている熊崎美枝子准教授及び澁谷忠弘准教授から紹介文を頂きました。以下に掲載させていただきます。

熊崎 美枝子准教授

(独)労働安全衛生総合研究所にて化学プラントの事故を防ぐ研究をしておりました。特に凝縮系での化学反応解析を専門としておりましたが、数年前より安全管理の研究にも携わっております。研究の過程で個々の要素技術、それを連携させるシステム、そしてそれらを実施するための人の素養の大切さ、そのための安全教育の重要性を感じてきました。これから教育・研究など大学での活動に楽しみながら努力して行くつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



澁谷 忠弘准教授

本年4月に、生産工学科から物質工学科に移ってまいりました。所属も工学研究院から環境情報研究院となり、同じ大学にしながら一部新しい環境を感じつつ約半年が過ぎました。専門分野として、機械システムの構造信頼性および安全管理に関する教育・研究に取り組んでいます。最近、破壊の予知をベースとする Prognostic Health Management と呼ばれる機器健全性管理手法の方法論に興味をもっており、経年劣化に伴う工学システムの諸問題に取り組んでいます。物質工学科の一員として、頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



横浜三工会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学工学部物質工学科物質のシステムとデザインコース内

TEL : 045-339-3991, FAX : 045-339-4012, E-mail : sanko@ynu.ac.jp

<http://www.msd.ynu.ac.jp/lab/sankou-kai>